1. 商品の概要

- この商品は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品（住宅用火災警報器）です。消防法に規定された大規模な建物に使用する「自動火災報知設備」には代用できません。
- この商品は初期火災の煙を感知して警報音で知らせる住宅用火災警報器です。消火装置や火災防止機器ではありません。火災などによる損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
  また、次のような火災は感知できないことがあります。
  ・火のまわりの早い火災
  ・爆発的な火災
  ・ガス漏れ、薬品火災、電気火災など
  ・煙の発生が少ない火災
- お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な警戒になりますので、万一の火災に対してより効果を発揮させるためには、必要に応じて複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめいたします。
- 接続個数は、親器1台と子器最大7台です。必ず親器が必要です。
- 親器同士の接続はできません。
- 従来の連動型（KRD-1A、CRD-1Aなど）および他社製品との連動はできません。

2. 安全上のご注意

取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負う可能性がある場合、または機器に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。

取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が軽傷を負うか物的損害が生じる可能性がある場合、または機器に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

⚠ 警 告

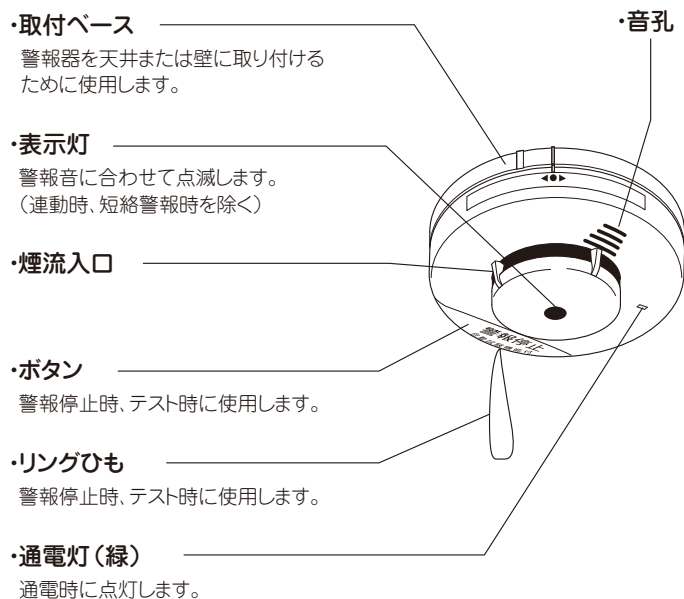
○ **屋外では使用しない。屋内専用です。**漏電や火災の原因になります。
○ **取付ベースの端子や配線に触れない。**感電や発火のおそれがあります。
○ **殺虫スプレーや化粧品スプレーなどを直接警報器にかけない。**誤報や故障の原因になります。
○ **警報器のすき間に針金などを差し込まない。**機器に重大な悪影響を及ぼすおそれがあります。
○ **警報器は分解、改造を絶対にしない。**機器に重大な悪影響を及ぼすおそれがあります。

⚠ 注 意

○ **警報器本体裏の端子は取り扱いに注意する。**先が鋭いため、ケガをするおそれがあります。
○ **音孔に耳を近づけて警報音を聞かない。**聴力障害などの原因になるおそれがあります。
○ **警報器の取り外し、取り付けの際は音孔に耳を近づけない。**誤ってボタンが押されると警報音が鳴り、聴力障害などの原因になるおそれがあります。
○ **音孔をテープなどでふさがない。**十分な警報音量が確保できないおそれがあります。
○ **警報器を落下させたり、衝撃を加えない。**故障の原因になります。
○ **警報器に傷を付けたり、ペンキなどでの塗装を絶対にしない。**機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。

○ 停電の場合、煙を感知できません。
○ 多量のガスが発生する殺虫剤などを使用する場合は、警報器を取り外し丈夫なポリ袋などに入れ、煙が入らないようにしてください。火災ではないのに火災警報音が鳴る原因となります。殺虫剤散布後は警報器を元の位置に取り付け、テストをしてください。
○ この警報器の施工には、電気工事士の資格が必要です。取付場所の変更や警報器増設の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

3. 各部の名称と働き

連動型親器（KRAC-M）　連動型子器（KRAC-S）

付属品

取付ネジ（2本）
※施工時に使用します。

購入日シール
※交換時期の目安となります。

取扱説明書（本書）
施工説明書

4. テスト（機能・連動）の方法

定期的に（1ヶ月に1度）警報器が正常に作動するかテストをしてください。
必ず全ての警報器の機能テストおよび連動テストをしてください。

■テストの方法

1秒程度ボタンを押す、またはリングひもを引いてください。
テストをした警報器は「機能テスト」として警報音が鳴り、ほかの部屋の連動している警報器は「連動テスト」として警報音が鳴ります。

●テストをした警報器（機能テスト）

機能テストは、警報器が正常に作動するかを確認するテストです。
「ピーッ!ピーッ!ピーッ!」と警報音が鳴り、同時に表示灯が点滅すると正常です。

●連動している警報器（連動テスト）

連動テストは、ほかの部屋の警報器と連動しているかを確認するテストです。
「ピーッ!ピーッ!ピーッ!」と警報音が鳴ると、正常です。
この時、表示灯は点滅しません。

■テストをして正常に作動しない場合

「11. 故障かな?と思ったら」や「7. 自動試験機能について」、
「8. 短絡監視機能について」をご参照の上、適切な処置をしてください。

⚠ 警 告

○**ライターや暖房器具などを使用しない。**故障や火災の原因になります。
○**安定した台に乗って行う。**転倒してケガをするおそれがあります。

⚠ 注 意

○**音孔に耳を近づけて警報音を聞かない。**聴力障害などの原因になるおそれがあります。
○**リングひもは強く引かない。**警報器が破損したり、リングひもが切れるおそれがあります。
○**リングひもは斜めに引かない。**警報器が落下し破損したり、ケガをするおそれがあります。

1週間以上留守にした場合は、警報器が正常に作動するかテストをしてください。

5. 火災の場合

設置されている警報器が煙を感知すると、接続している全ての警報器が鳴り、お知らせします。

■煙を感知すると

●煙を感知した警報器
警報音「ピーッ!ピーッ!ピーッ!」が鳴り、同時に表示灯が点滅してお知らせします。

●連動している警報器
警報音「ピーッ!ピーッ!ピーッ!」が連動して鳴ります。この時、表示灯は点滅しません。

・火災の状況に応じて、火元を確認し、落ち着いて避難してください。
・119番へ通報するなど適切な処置をしてください。

◎ 万一に備え、日頃の避難ルート、連絡先などを確認することをおすすめします。

次のような場合は警報音が聞こえないことがあります。
・就寝中、薬を服用していた場合
・飲酒して就寝した場合
・ドアを閉めている時の警報時
・交通、ステレオ、ラジオ、テレビ、エアコンなどの騒音が大きい場合

6. 火災警報音の停止方法

●煙を感知した警報器（表示灯が点滅）
火災警報中にボタンを押す、またはリングひもを引くと、連動している警報器も含め、約5分間火災警報音を停止させることができます。

●連動している警報器（表示灯が点滅しない）
火災警報中にボタンを押す、またはリングひもを引くと、操作した警報器のみ、約5分間火災警報音を停止させることができます。

警報器内部に煙が残っている場合は約5分後に再び火災警報音が鳴ります。警報器内部の煙がなくなるまで火災警報を繰り返します。換気などを行い煙がなくなると、自動的に火災警報を停止し、監視状態に戻ります。

◎ 火災ではない場合、「11.故障かな?と思ったら」をご参照の上、適切な処置をしてください。

○**安定した台に乗って行う。**転倒してケガをするおそれがあります。

火災警報の際は、警報器を取り外さないでください。ボタンを押す、またはリングひもを引くと、火災警報は止まります。

7. 自動試験機能について

警報器に異常が発生し、煙を正常に感知できなくなった場合、故障警報音が鳴り、同時に表示灯が点滅して、自動的に故障をお知らせする機能です。

■煙を正常に感知できなくなると

故障警報として約8秒間隔の故障警報音（ピッピッピッ）と表示灯の点滅でお知らせします。

故障状態では煙を感知できませんが、ほかの警報器が煙（熱式の場合は熱）を感知した場合、連動してお知らせします。（ほかの警報器でテストをした場合も、連動して警報音が鳴ります。）

故障警報中にボタンを押す、またはリングひもを引くと、「ピーッ！」と鳴ってその後約12時間、故障警報を停止させることができます。
（故障警報を停止している間も火災を感知できません。）

故障警報停止中にボタンを押す、またはリングひもを引くと、故障警報音が鳴り、同時に表示灯が点滅して、故障警報停止中であることをお知らせします。

故障警報の際は、お買い上げの販売店または弊社にご相談の上、新しい警報器に交換してください。（故障状態では、火災を感知できません。）

8. 短絡監視機能について

親器と子器の間の連動線を、親器で監視しています。
連動線が短絡した場合、親器の故障警報音が鳴り、自動的にお知らせします。

■連動線が短絡すると

親器が短絡警報として約8秒間隔の故障警報音（ピッピッピッ）でお知らせします。
この時、表示灯は点滅しません。

短絡している子器（通電灯消灯）は煙を感知できません。
また、親器や短絡していない子器が煙を感知した場合も、警報音は鳴りません。

短絡警報中に親器のボタンを押す、または引きひもを引くと、「ピーッ!」と鳴ってその後約12時間、短絡警報を停止させることができます。

短絡警報停止中に親器のボタンを押す、または引きひもを引くと、故障警報音が鳴り、短絡警報停止中であることをお知らせします。

短絡警報の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

9. 警報器の取り外し・取り付け

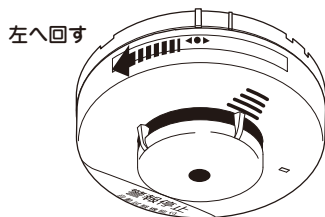
⚠ 警 告

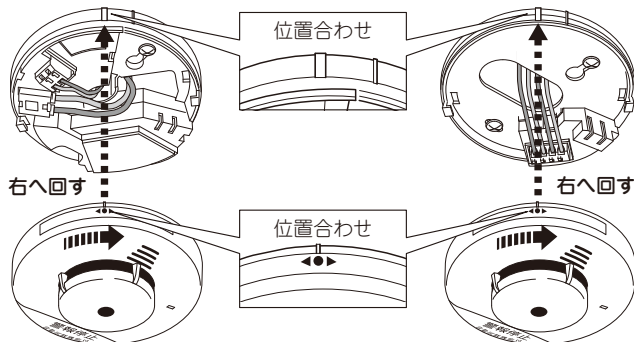
○**取付ベースの端子や配線に触れない。**感電や発火のおそれがあります。
○**警報器の取り付けは正しく行う。**正常に作動しないおそれがあります。
○**安定した台に乗って行う。**転倒してケガをするおそれがあります。

⚠ 注 意

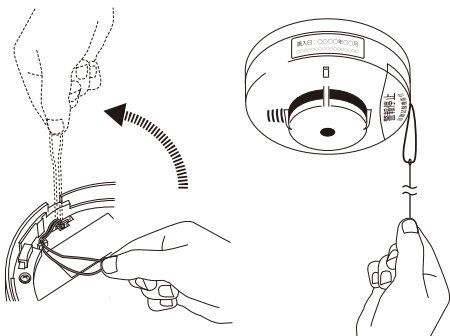
○**警報器の取り外し、取り付けの際は音孔に耳を近づけない。**
誤ってボタンが押されると警報音が鳴り、聴力障害などの原因になるおそれがあります。
○**警報器の取り外し、取り付けの際は警報器の外周を持つ。**煙流入口付近を持つと、破損するおそれがあります。
○**警報器本体裏の端子は取り扱いに注意する。**先が鋭いため、ケガをするおそれがあります。

■取り外し方法

警報器を左に回して取り外してください。

■取り付け方法

“位置合わせ”を合わせ、警報器が止まるまで右に回してください。

警報器取り付け後、通電灯（緑）の点灯を確認の上、テストをしてください。
詳細は「4.テスト（機能・連動）の方法」をご参照ください。

10.リングひもについて

天井や壁に取り付けた時にボタンが押せない場合は、収納されているリングひもを出し、別途ひもを用意して、リングひもと結んでください。

⚠ 注 意

○**リングひもに別途ひもを取り付ける際は音孔に耳を近づけない。**
リングひも、または取り付けたひもを引くと、警報音が鳴る場合があり、聴力障害などの原因になるおそれがあります。

11. 故障かな?と思ったら

下記の対処を行っても改善されない場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

症　状	原　因	対　処
火災ではないのに火災警報音が鳴り、同時に表示灯が点滅している。	火災以外の煙など（埃、殺虫剤、スプレー類、調理による煙、湯気）を警報器が感知しています。	換気などを行い、警報器内の煙などがなくなるまでお待ちください。また、火災以外の煙で火災警報が多発する場合は取付場所を変えてください。取付場所の変更は、お買い上げの販売店にご相談ください。
警報器の近くに煙がないのに火災警報音が鳴る。（表示灯が点滅しない）	ほかの部屋の警報器が煙（熱式の場合は熱）を感知しています。	火災ではないことを確認の上、煙（または熱）を感知している警報器（表示灯が点滅）の警報原因がなくなるまでお待ちください。
8秒間隔で警報音「ピッピッピッ」が鳴り、同時に表示灯が点滅している。	警報器の故障です。	新しい警報器との交換が必要です。お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。
8秒間隔で警報音「ピッピッピッ」が鳴る。（表示灯が点滅しない）	連動線の短絡です。	お買い上げの販売店にご相談ください。
テストの際、ボタンを押す、または引きひもを引いても警報音が鳴らない。（通電灯が点灯）	警報音停止状態（煙を感知し、警報停止から約5分間）になっています。	5分後、再度テストをしてください。
テストの際、ボタンを押す、または引きひもを引いても警報音が鳴らない。（通電灯が消灯）	ブレーカーがオフになっています。	ブレーカーをオンにし、通電灯（緑）の点灯を確認の上、再度テストをしてください。
	停電状態です。	停電復旧後、通電灯（緑）の点灯を確認の上、再度テストをしてください。
	警報器と取付ベースが正しく取り付けられていません。	「9.警報器の取り外し・取り付け」をご参照の上、警報器を正しく取り付けてください。
	連動線の短絡です。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	連動線の断線です。	お買い上げの販売店にご相談ください。

12. お手入れ方法

中性洗剤に浸して十分に絞った布で汚れを拭き取ってください。
また、お手入れ後は警報器が正常に作動するかテストをしてください。
詳細は「4.テスト（機能・連動）の方法」をご参照ください。

○ **取付ベースの端子や配線に触れない。**感電や発火のおそれがあります。
○ **警報器は水洗いしない。また、ベンジンやシンナーなどを使用しない。**
故障の原因になります。
○ **安定した台に乗って行う。**転倒してケガをするおそれがあります。

○ **お手入れの際は音孔に耳を近づけない。**誤ってボタンが押されると警報音が鳴り、聴力障害などの原因になるおそれがあります。
○ **煙流入口に触れない。**破損するおそれがあります。

13. 廃棄について

警報器は各市町村で定められた廃棄方法に従って廃棄してください。

14. アフターサービスについて

1. この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
2. 万一故障した場合は、分解せずにお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。保証規定により修理をいたします。
3. 保証期間が経過した場合、および保証の適用除外故障でも修理いたします。この場合は実費を負担していただきます。
4. アフターサービスについてご不明の場合、その他弊社製品については、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

15. 仕様

型　　名	KRAC-M（連動型親器）	KRAC-S（連動型子器）
種　　別	光電式住宅用防災警報器	
鑑定型式番号	鑑住第18～86号	鑑住第18～87号
感知方式	煙式	
感　　度	光電式2種	
定　　格	AC100V, 30mA	DC7V, 15mA
電　　源	AC100V, 50/60Hz	親器より供給（DC7V）
機器交換の目安	約10年　※1	
音　　量	1mにて70dB以上	
最大接続個数	親器1台＋子器7台まで　※2	
外形寸法	φ100mm × 54.5mm	φ100mm × 44.5mm
質　　量	約233g	約125g
使用温度範囲	0℃～40℃	
復　　旧	自己復旧方式　※3	

※1:使用環境により、機器交換の目安は短くなることがあります。
※2:必ず親器が必要です。親器同士の接続はできません。
※3:自己復旧方式とは、火災の煙がなくなると自動的に火災警報を停止し、監視状態に戻る機能です。
仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

16. 保証規定

1. 保証期間は、お買い上げ日から起算といたします。
2. 通常のお取り扱いにおいて、保証期間内に万一故障した場合、商品および保証書を購入した販売店へご持参ください。販売店または弊社が無料修理いたします。出張サービスの場合は別途に出張料金を負担していただきます。また、商品を直接弊社へ郵送される場合は送料をご負担いただきます。
3. 保証期間内においても、次のような場合は修理料金をいただきます。
   - イ）使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
   - ロ）購入後の輸送、または移動時の衝撃による故障および損傷
   - ハ）火災、地震、落雷、異常電圧、天災地変、公害、塩害、温泉など腐食ガスなどによる故障および損傷
   - ニ）油汚れなどによる機器の機能劣化
   - ホ）一般家庭の屋内以外での使用などによる劣化
   - ヘ）保証書を紛失、またはご提示のない場合
   - ト）保証書の所定事項の記載もれ、または字句を書き換えられた場合

17. お問い合わせ先

お取扱いなどのご相談はニッコリタンちゃんお客様サービスセンターへ

ナビダイヤル　全国どこからでも市内料金でご利用いただけます。

0570-022-888（24時間・365日受付）

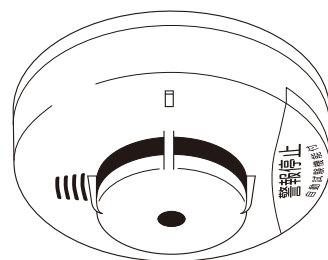
※一般電話、公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
※PHS,IP,その他一部の電話機からはナビダイヤルはご利用いただけません。TEL.03-5333-7026をご利用ください。

本社　東京都渋谷区笹塚1-54-5　〒151-8535　Tel 03（5333）8601（代）

12.11E

NITTAN

取扱説明書

住宅用火災警報器（煙式）

KRAC-M（AC100V連動型親器）　　**KRAC-S**（連動型子器）

自動試験機能付
AC電源タイプ

日本消防検定協会
鑑定合格品
消防法令適合品

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの「取扱説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
なお、この取扱説明書はいつでも確認できるところに大切に保管してください。

本警報器の交換の目安は約10年です。　保管用　保証書付

保証書

KRAC-M,KRAC-S

※製品記号	
保証期間	お買い上げ日から本体1年間
※お買上げ日	年　月　日
※販売店	住所・店名 電話

見本

※販売店さまへ…※印は必ず記入してお渡しください。

お客様	ご住所 お名前　　様 お電話

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。詳細は「保証規定」をご参照ください。またこの保証書によって、ニッタン（株）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

ニッタン株式会社

本社　〒151-8535　東京都渋谷区笹塚1-54-5